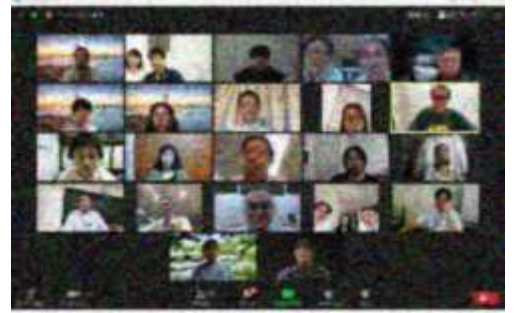


こんな活動です

# 地域は学びのキャンパス：子供たちの生きる力を学校と地域で育んでいます

東京都三鷹市	●活動名	●関係する学校名
	三鷹の森学園コミュニティ・スクール委員会	三鷹市立第五小学校 三鷹市立高山小学校 三鷹市立第三中学校

協働活動開始年度	平成 21 年度	学校運営協議会	指定・設置日	平成21年4月1日設置	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動	—		—		
	地域未来塾	放課後子供教室		—		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数	
	1人		—		2人	
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	無	
	156人	—		—		
参考URL	<a href="http://www.mitaka-schools.jp/mitakanomori/index.html">http://www.mitaka-schools.jp/mitakanomori/index.html</a>					



令和2年7月オンラインCS委員会で撮影(CS委員会HP)

●連絡先	三鷹市立第三中学校	☎ 0422-44-6181
------	-----------	----------------

●活動の概要・経緯

平成21年4月に、三鷹市立第五小学校・高山小学校・第三中学校の3校が、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育校「三鷹の森学園」として開園した。同時に設置された、三鷹の森学園コミュニティ・スクール委員会は、地域・サポート部、評価部、広報部で構成されている。

学園開園10周年にあたる令和元年度には、三鷹の森学園コミュニティ・スクール委員会による様々な記念事業企画の実施により、幅広い地域人財とのつながりづくりと支援が得られるとともに、地域からの学校への協力体制の広がりが見られた。また市の研究協力校としての学園の研究活動に、熟議等を通してコミュニティ・スクール委員会が大きく関わり、地域に開かれた教育課程の実現に向けた取組を前進させた。

※三鷹市では、通常使われる「人材」ではなく、「財産」「宝」を意味する「人財」という言葉を使っている。

## ●活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

地域学校協働本部として、三鷹の森学園コミュニティ・スクール委員会地域・サポート部が、地域人財による学園サポート、地域ボランティアの把握を行っている。平成30年度から「学園サポーター」の組織化の取り組みをスタートし、学習補助や見守り活動、地域学習等校外学習サポート等、学校間の枠組みを越え学園全体で子どもたちの学びをサポートするしくみづくりをおこなっている。

### 【実施に当たっての工夫】

学園やコミュニティ・スクール委員会の取組みへの保護者や地域の理解を深めるため、コミュニティ・スクールガイドやコミュニティ・スクールだより、ホームページ等により、積極的に情報を発信している。ボランティア登録やボランティア活動への参加についてインターネットを活用した仕組みづくりに取り組んでいる。

### 【関係機関・団体等との連携状況】

- ・地域人財・地域商店等と連携した職業人の話を聞く会、職場体験授業(中学生)
- ・英語交流活動(イングリッシュ・クリスマス・パーティ)等を、地域人財や近隣高等学校と連携して実施

## ●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

地域人財による授業サポートや子どもの安全確保、教育環境の整備など学園サポート、サポート隊の組織化、地域でのボランティア活動の促進、健全育成・安全指導の活動等こうした様々な取り組みを推進することで、地域や保護者と協働して行う学習指導等の充実を図っている。学校支援ボランティア参加実績は、令和元年度は1年間で延べ2,661人となり、平成22年度からの10年間で、ボランティアとして活動される方の数は、3.9倍となっている。

## ●その他

令和2年度からは、スクール・コミュニティ推進員(地域学校協働活動推進員)を導入し、ボランティアの管理・確保、学園・学校・地域との連絡・調整機能をさらに充実させ、多様な取り組みを継続的に行えるよう取り組んでいる。



サ  
平  
成  
3  
0  
年  
に  
4  
月  
よ  
り  
学  
校  
支  
援  
園



ス  
ク  
ー  
ル  
の  
森  
学  
園  
コ  
ミ  
ュ  
ニ  
テ  
ィ  
による  
熟  
議